

新たな知見を得る

— 県内企業・施設研修 —

◇期 日 令和元年 10 月 18 日(金)

◇場 所 スギノマシン早月事業所、不二越、榊田酒造店、富山県立イタイタイ病資料館

◇参加者 第1学年探究科学科生徒 80 名

県内企業・施設研修では探究科学科 1 年生 80 名がクラスごとに不二越・スギノマシン・榊田酒造店の県内企業や、イタイタイ病資料館を訪問し学びを深めた。

スギノマシンでは、BtoB で海外との大規模な取引が行われており、「超技術」を展開して事業を行っている。原点となる商品から技術の輪が広がってゆき、もとは付随物であったものが主力商品へと進化していったことや、様々な分野に事業を展開していることを知り、特定の見方だけに留まらず、柔軟な思考で多方面に技術力を生かしていくことの重要性を強く感じた。実験施設では、金属を精密な形に加工していく様子を間近で見学し、高圧水で物体を切断するウォータージェットマシーンで段ボールを切る体験をさせてもらい、技術力の高さを目の当たりにし、驚きの声をあげた。



不二越は創業 90 年以上の企業でマテリアルやロボット、ベアリングなどの機能部品の各事業など、ものづくりのプロセスに貢献する事業展開をおこなっていることを知った。実際に最先端のロボットを展示しているブースに行き、スムーズな動きで精度の高い作業を行うロボットや、人の動きを感知してともに安全に作業できるロボットなど、社会やお客様のニーズに応える商品が多く開発されていることをまのあたりにした。私たちが直接目にする事のない自動車や新幹線の部分に使用されているベアリングが世界のトップシェアを占めていることなど、不二越が世界に誇る企業であることを実感した。



岩瀬では、榊田酒造店の社長の榊田さんの案内で、榊田酒造店の工場



や店舗を見学し、岩瀬の町並みをめぐりながら、岩瀬の町づくりや榊田さんの生き方、考え方など貴重なお話を聞いた。岩瀬で売りに出た、あるいは取り壊される予定だった土蔵群や家屋を購入・改修しては陶芸家やガラス作家、木彫刻家の拠点をつくり、酒商をつくり、レストランを誕生させている。メイン通りの無電柱化も行われ、町並みの美しさが高まっていた。「感性の鋭い人を呼ぶこと

に価値がある」との榊田さんの言葉どおり、レースガラスの作品や、一本の木から作られた彫刻作品など、感性豊かな作品の美しさ、素晴らしさに感動した。日本だけに留まらず、世界とも交流を持ち、様々な取り組みを行っている榊田さんのエネルギッシュなお話に、強い刺激をうけ、心動かされる有意



の家族にまで心身共に大きな苦痛を与えていたかということを知った。

身近にある県内の企業や資料館での研修を通して、今まで気づかなかった世界に誇れる技術や研究開発、町の魅力、将来のビジョンを持って世界を見据えている人や企業があること、またイタイタイ病の実態や被害の状況などに驚き、多くのことを学んだ。

義な時間を過ごすことができた。

イタイタイ病資料館では、富山県で起きた歴史的な公害病について、当時の映像も交えたビデオを見て、どのような被害があったのかを知った。家族がイタイタイ病であったという語り部の方から話を聞き、患者やそ

